

平成28年度 当初予算概要 一般会計210億5,500万円

日本一へ「まるかつて」GoGo 予算

平成28年度

当初 予算

第4次市総合計画で示した「みんなの元気と調和でつくる暮らし満足都市」の実現を図ります。定住人口の増加や合計特殊出生率2.07の達成に向け、総合戦略に掲げる将来を見据えた事業に重点を置いた予算編成になりました。

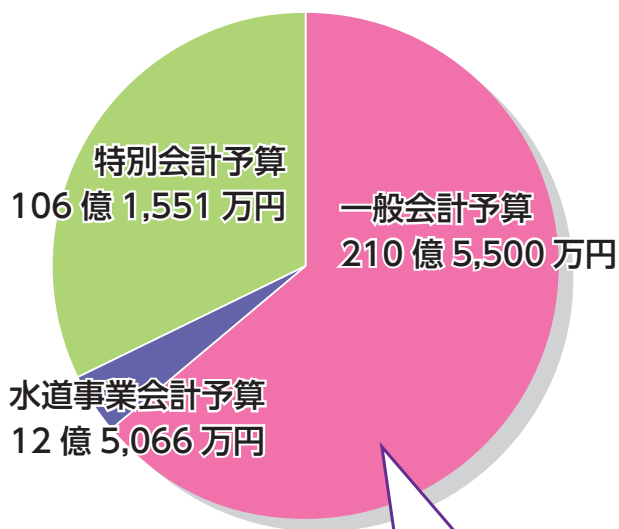
予算総額 329億2,117万円

(平成27年度 325億251万円)

一般会計 210億5,500万円

(平成27年度 202億500万円)

平成28年度 会計別予算



当初予算前年度対比

	平成28年度予算	平成27年度予算
一般会計	210億5,500万円	202億500万円
水道事業会計	12億5,066万円	13億5,590万円
特別会計	106億1,551万円	109億4,161万円
合計	329億2,117万円	325億251万円

水道事業会計

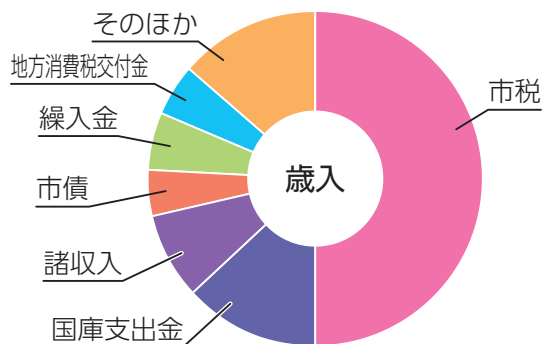
	収入	支出
収益的	10億110万円	7億9,873万円
資本的	5,900万円	4億5,193万円

土地開発公社会計

	収入	支出
収益的	4億9,311万円	4億2,900万円
資本的	3万円	4億2,650万円

一般会計予算

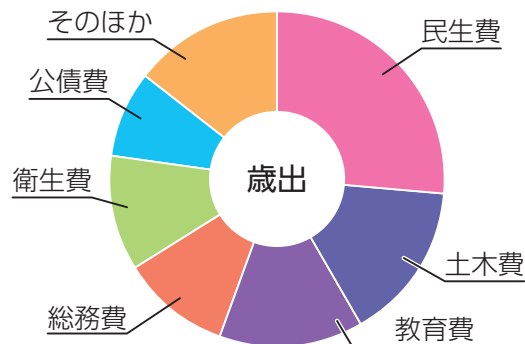
歳入総額 210億5,500万円



歳入

市税	105億2,505万円	50.0%
国庫支出金	28億531万円	13.3%
諸収入	17億2,039万円	8.1%
市債	9億9,470万円	4.7%
繰入金	11億7,051万円	5.5%
地方消費税交付金	10億5,000万円	5.0%
その他	27億8,904万円	13.4%

歳出総額 210億5,500万円



歳出

民生費	55億8,788万円	26.5%
土木費	32億1,191万円	15.3%
教育費	28億9,646万円	13.8%
総務費	22億6,190万円	10.7%
衛生費	23億658万円	11.0%
公債費	17億7,072万円	8.4%
その他	30億1,955万円	14.3%

市の会計の構成

市の会計は、一般会計、特別会計、水道事業会計で構成されています。

一般会計は、まちづくりや福祉、産業経済、教育など市の基本的な事業を行うための会計です。特別会計は、保険料など特定の収入で事業を行う会計で、事業の収支を明確にするため、一般会計と区分しています。当市には、国民健康保険事業など7つの特別会計があります。水道事業会計は、事業収入で公共の利益を目的に経営する事業会計です。

「みんなの元気と調和でつくる暮らし満足都市」の実現に向けて

市では、第4次市総合計画で目指す将来像「みんなの元気と調和でつくる暮らし満足都市」の実現を図るため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に推進します。定住人口の増加や合計特殊出生率2.07の達成に向けた、魅力あるまちづくり、ひとづくり、しごとづくりを進め、迅速かつ効果的な市政運営に取り組むことが必要となります。

平成28年度当初予算は、現在実施している当市の地方創生の取り組みをさらに加速していくため、総合戦略に掲げる将来を見据えた事業に重点を置きます。国・県補助金や市債など特定財源を積極的に活用し、財政調整基金の取崩額を極力抑制するなど、健全な財政運営を心がけた予算として編成しました。

総予算額は前年度比4.2%の増

一般会計予算総額は、210億5,500万円で、前年度当初予算に比べ、8億5,000万円、4.2%の増となりました。これに特別会計106億1,551万円と、水道事業会計12億5,066万円を合わせた総予算額は、329億2,117万円となり、前年度当初予算に比べ、4億1,866万円、1.3%の増となりました。

日本一へ「まるかって」GoGo 予算

一般会計予算総額は、210億5,500万円にちなみ、『日本一へ「まるかって」GoGo 予算』と命名しました。厳しい財政状況下で、地方創生に市民の方が一丸となり結束し、「まるかって」取り組む、本市の姿勢を表したものです。

※「まるかって」：富士山麓の方言、大勢で束になって。

都市計画税(4億300万円)の用途状況

都市計画税は、総合的なまちづくりを行うため、街路整備など都市計画事業に要する費用の一部として活用されています。

都市計画事業(現年度分)

(単位：千円)

	事業費	構成比	財源内訳	
			特定財源	一般財源
裾野駅周辺整備費	716,132	36.1%	683,150	32,982
平松深良線街路費	160,418	8.1%	151,450	8,968
都市計画事業公債費	156,417	7.9%	0	156,417
下水道事業特別会計	950,740	47.9%	427,963	522,777
合 計	1,983,707	100.0%	1,262,563	721,144

* 特定財源……国県支出金、地方債、負担金など



都市計画道路 ▶
平松深良線整備事業



◀ 裾野駅西土地
区画整備事業

平成28年度の一般会計予算を1カ月の家計簿に例えてみると

平成28年度一般会計予算を月収約50万1,400円の家計(一般会計予算の3,500分の1)に置き換えてみると、次のようになります。

(単位：円)

収入項目 (一般会計の項目)	金額	支出項目 (一般会計の項目)	金額
給料(市税)	250,600	食費(人件費)	87,800
雑収入(使用料など)	70,600	医療費(扶助費)	85,100
預金の取崩し(繰入金)	27,900	光熱水費・通信費(物件費)	154,000
親からの仕送り(国・県支出金など)	128,600	家の増改築など(投資的経費)	78,600
ローン借入れ(市債)	23,700	子どもへの仕送り(特別会計への繰出金)	35,900
		貯蓄(積立金など)	17,800
		ローン返済(公債費)	42,200
合計	501,400	合計	501,400

平成28年度 将来投資事業・新規事業・主要継続事業 総合計画の6本の柱に沿った実施計画を策定

平成28年度

主 要 事 業

実施計画は、市総合計画前期基本計画で示した施策を具体化するための計画です。市では、効率的で効果的な行政運営を行うため、施策の貢献度や優先度、市への要望や社会の動きを参考にしながら、体系別の実施計画を策定しました。28年度に計画した134億1,029万円の事業の中から、将来投資事業や新規事業、継続事業の主なものをお知らせします。

※ 将来投資事業、新規事業、継続事業

(単位：万円)

1. だれもが将来にわたってすこやかに暮らせる健康と福祉の「すその」

事業費総額 50億7,714万円

事務事業名	事業概要	事業費
裾野赤十字病院助成事業	市民生活の安心・安全のため、裾野赤十字病院に対し救急医療事業、医療機器購入費、医師の事務負担軽減を目的とした職員の配置に対して助成する。	7,700
臨時福祉給付金給付事業	消費税率の引き上げの影響などを踏まえ、低所得者に対し給付措置を行う。	3,850
障害者相談支援事業	障がい者の課題解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントできめ細かく支援するため、福祉サービス利用者へ計画相談と合わせ一般相談の体制充実を図る。	2,857
地域少子化対策重点推進事業	少子化対策として、子どもの成長と子育てを地域全体で支援するため、各事業を実施する。①子育て支援情報発信事業②地域における子育て相談体制強化事業③みらいのパパマスクール事業④企業、市民との協働による子育てにやさしいまちづくり事業	392
認証保育所運営事業	子育て環境を整備するため、一定基準を満たす幼児施設を市独自に認証し、運営費を助成する。	1,100
多子世帯子育て支援事業	多子世帯の子育てを支援するため、保育園、幼稚園の利用者負担額を第二子半額、第三子以降無料にする。	4,000

2. 成長するよろこびと地域のつながりでこころの豊かさを育む「すその」

事業費総額 12億7,141万円

事務事業名	事業概要	事業費
幼児を対象とした外国文化ふれあい事業	保育園・幼稚園に外国語指導助手（ALT）を派遣し、挨拶や簡単な会話、歌、ゲームを楽しむことを通じて、幼少期から外国語や異文化に慣れ親しむ機会をつくる。	441
「学びの森」運営事業	子どもに質の高い教育を提供していくために、「学びの森」を設置・運営する。「学びの森」では専門的な指導員を配置し、①教職員の研修体制の充実 ②学校と地域の連携協力の推進 ③児童生徒、保護者との教育相談を進める。	1,823
学力向上ボランティア事業	自主的な学習を希望する児童生徒の指導のために、放課後や夏休みなどに学力向上ボランティアを配置し、きめ細やかな学習支援体制をつくる。	84
ほんものとふれあう学習事業	児童・生徒が文化・芸術を鑑賞したり、外部講師（トップアスリート・芸術家など）の講演を聴いたりするなど、ほんものとふれ合う機会を設定する。小学校などでアーティストの生演奏を聴く場を設ける「公共ホール音楽活性化（おんかつ）事業」を同時に実施する。	333

3. 市民と行政が手を携えてつくる安心と活力のある「すその」

事業費総額 16億9,573万円

事務事業名	事業概要	事業費
市民協働推進事業	市民活動団体による地域活動の支援のため、各事業を実施する。①市民活動センター運営事業②（新規）まち・ひと・しごとマッチング事業③協働によるまちづくり支援事業	969
恋来い支援センター運営委託事業	恋来い支援センターで、結婚相談事業（婚活のためのイベント含む）と、民間が実施した体験婚活事業（おとなの部活）・出会いの場創出事業（裾コン）の3施策4事業を統合し、新たに総合支援を行う。	240
住民票等コンビニ交付事業	市民サービスの向上を図るため、マイナンバーカードを用いて住民票などをコンビニで取得できるサービスを提供する。このためのシステムを構築し、サービス提供の準備を行う。	754
市一般廃棄物処理基本計画策定事業	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条に基づき、一般廃棄物を適正に処理するため、一般廃棄物処理基本計画を策定する。	600
新エネルギー機器等（防災・減災対応型）導入補助事業	地球温暖化防止対策や環境への負荷が少なく、災害時には非常用電源としても利用可能な新エネルギー機器の購入費用に対して助成する。	1,965
新富士山南東消防組合運営事業	富士山南東消防組合の維持管理費用を負担金として支出する。	67,683

4. 豊かな自然と暮らしやすさが調和した「すその」

事業費総額 27億3,032万円

事務事業名	事業概要	事業費
県営林道裾野愛鷹線整備事業	須山地区林道大沢入線から葛山地区林道葛山線を結び約 20kmの広域基幹林道を開設し、森林整備（利用間伐など）の促進を図る。	1,628
裾野駅バリアフリー化整備事業	誰もが安心安全に裾野駅を利用するため、駅構内にエレベーターなどを整備し、バリアフリー化を図る工事にに対して助成する。 工事：H 27～28 年度	16,284
新裾野市住生活基本計画等見直し事業	見直し時期を迎える公営住宅等長寿命化計画とあわせて見直しを行う。	400
新集約都市形成に係る基礎調査事業	都市の現状、特性の把握、将来の都市像および将来人口密度の検討、分析、アンケート調査（パーソントリップ）、事業所や企業、学校のヒアリング、市民ワークショップ、課題整理と望ましい立地適正、公共交通ネットワークに関する基礎調査を実施する。	905
宅地分譲促進事業	市街化区域内の未利用地の優良宅地化を促進するため、基準を満たした宅地分譲事業に対して助成する。	1,000
（仮称）神山深良線整備事業	朝夕の渋滞解消のため、深良地先の市道 1－4 号線（農免道路）と御殿場市神山地先の道路を整備し、交通の円滑化を図る。	7,500
橋梁長寿命化修繕・耐震補強事業	道路橋の安全性の向上や延命化を図るため、定期点検や工事を実施する。地震などの大規模災害時でも通行できるように橋の耐震補強工事を実施する。	13,393
東西地区（市街化区域）道路整備計画に基づく道路整備事業	東西地区内の市街化の促進、緊急車両の通行路確保などを行うため、道路整備計画に基づく道路整備を実施する。	3,000
都市計画街路平松深良線整備事業	都市計画道路平松深良線のうち 3 つの工区を継続して整備する。対象工区：①裾野駅東通りから佐野茶畑線間、②市民体育館前通りから千福公文名線間、③調整区域の市道 2-18 号線（千福公文名線から久根地内）	21,822
市道 1－2 6 号線整備事業	都市計画街路平松深良線整備に伴う通過車両の生活道路への流入を防ぐため、平松深良線（公文名工区）の終点部と市道 1－4 号線（農免道路）間を整備する。	4,590

5. 今ある魅力と資源を再発見し、未来へつなげる「すその」

事業費総額 1億8,672万円

事務事業名	事業概要	事業費
住宅建設等促進事業	定住人口の増加や地域経済の振興を図るため、住宅の新築などに対して助成する。新築 50 万円× 25 戸、耐震補強・リフォーム 20 万円× 55 戸	2,500
新産業基本計画策定事業	本市の産業が目指す方向性を明確にし、それを実現するための施策を具体的に示すことを目的とした、商業、工業、観光産業の総合的な振興計画を策定する。	300
企業立地促進事業	企業の誘致や立地維持を図るため、事業用地取得費、建物機械設備取得費などに対して助成する。	6,180
深良柏木田・西原耕地圃場整備事業	県営による深良柏木田・西原耕地の圃場整備を推進するための市負担金。	1,575
地域戦略作物活性化支援事業	薬用作物とそばを地域戦略作物に位置付け、同作物の作付に対する補助を行うことで、耕作放棄地の解消、農産物の 6 次産業化・新たな特産物の創出を図る。	250
屋上緑化推進事業生産者活動助成事業	屋上緑化事業の継続に伴う施設の管理や種苗の育成を行う。	120
地域農業担い手支援事業	将来の農業の担い手を確保するため、農業用機械・施設導入費用や販路拡大を目的とする展示会出展費用などに対して助成する。	210
新がんばる中小企業相談事業（空き店舗対策）	実績のある相談支援専門機関と連携して、常時中小企業や個人事業者からの経営や販路拡大の相談を受け付け、個人の起業推進や中小企業の事業拡大による地域活性化を図る。（2 回程度/月）	600
新ビジネスコンテスト事業化補助事業	首都圏や地元の大学生、社会人などに当市の資源の視察と、磨かれる前の資源に着目した新ビジネスを企画提案してもらうことで、創業マインドの向上やビジネスマッチングによる地域イノベーションを図る。	150

6. 健全な行政をみんなが実感できる市民と未来に開かれた「すその」

事業費総額 24億4,897万円

事務事業名	事業概要	事業費
シティプロモーション推進事業	市の魅力を創出し、ブランド力や認知度のアップを図るため、県内外へ戦略的な情報発信を行う。市マスコットキャラクター“すそのん”の活用やフィルムコミッションなどの充実を図る。	650
新市ウェブサイトリニューアル事業	見やすく、検索しやすいウェブサイトにするため、全面的なリニューアル作業を行う。スマートフォンやユニバーサルデザイン、外国語への対応を含む。	1,500
市総合計画等策定事業・国土利用計画改定事業	第 4 次市総合計画後期基本計画策定と第 3 次国土利用計画市計画改定を行う。	835
市民課窓口委託事業	住民票交付などの市民サービスの向上を図るため、窓口業務を外部委託する。	2,261
みんなで子育てするまち推進事業	子育てにやさしいまちの実現に向けて、地域全体が子育てを応援し、男性も女性も家庭と仕事の両立ができる機運を醸成するための各種事業を、長泉町と合同で実施する。	200
新斎場整備事業	斎場は、老朽化が著しく更新が必要なため、長泉町と共同で調査・計画を実施する。	1,505